

<p>■日時：H29/9/30（土）13：30～17:00 ■場所：平成医療短期大学 ■出席者：須貝、廣渡、山河、渋谷、中根、林^前、藤井、山田、安井、加藤^清、田中、木下、加藤^政、川崎、柴、君垣、林^昌、吉田</p>		
<p>会長 (須貝)</p>	<p>■第 2 回 47 都道府県委員会 日程：平成 29 年 7 月 1. 2 日 ・災害対策室報告→協会より安否確認のシステム作りをと。 ・MTDLP の啓発は今後も行っていく。 全体の 50%ほどしか受講できていない現状 ・運転と作業療法委員会報告 岩砂病院より運転と作業療法についてアンケート調査実施 回答：21/151 件 10/15 大阪にて運転と作業療法委員会開催 ※第 3 回 47 都道府県委員会 日程：平成 30 年 1 月 27. 28 日 参加者：須貝会長+1 名 ■多職種連携調査研究事業 POS のリハ職だけでなく、多職種との連携が目的 (研修会) 日程：平成 29 年 10 月 1 日 今回のテーマは「食と運動～フレイルの予防～」 OT の参加は 6 名と少ない ■多職種合同研修会 日程：平成 29 年 10 月 16. 17 日 岐阜県 OT 士会共同企画 17 日①10：00～「認知症シンポジウム」 ②19：00～「福祉用具で拡がる在宅生活」 ■災害リハビリ支援について ■CR-GNet 理事就任あり、須貝会長承諾 急性心筋梗塞に対し、OT はさほど関与していない 慢性心不全に対して OT は関与すべき ■学会準備支援委員会について 承諾 21 名 無回答 1 名 要審議 2 名 業務量を考え、委員会なのか部会レベルなのか？ 「学会運営委員会」「学会準備支援委員会」二つの委員会の上位組織があった方がまとまりやすいのでは？ ■県士会 HP に問い合わせ ラッパーの OT 県士会へ活動の場の依頼→ごったにて宣伝 ■MTDLP 平成 29 年 12 月 10 日 MTDLP の書き方研修会の実施</p>	<p>事業部 (山田)</p> <p>■POS1 日体験について 日程：平成 29 年 8 月 1～3 日 32 施設が協力 予算は各士会より 5 万円ずつ 男女：男 40 名、女 92 名 希望職種：PT100 名、OT42 名、ST24 名 今年は各学校のパンフレットを配布 (改善点) ・現場の OT と患者の関わりを見せられるとよいかも。 ■今後の予定 大垣市健康広場 平成 29 年 10 月 15 日 岐阜市健康祭り 平成 29 年 11 月 5 日</p>
	<p>現職者研修部 (首藤)</p>	<p>■現職者共通研修 日程：12 月 10 日 場所：近石病院 共通研修会終了後に MTDLP 書き方研修会</p>
	<p>第 22 回岐阜県作業療法学会 (廣渡)</p>	<p>■学会テーマ 「作業療法、可能性への挑戦」 日程：平成 30 年 5 月 27 日 場所：不二羽島文化センター、羽島市民公民館 ■検討事項 ・最新の査読者一覧の提供について ・後援先の一定化（固定後援先があるとよい） →県の教育委員会はハードルが高い →固定化はその年のテーマによる ・学会支援部の早期介入 ・時期学会長の早期選出 →会場を抑えるに当たり早期選出が必要 →次回は高山開催、野尻先生に連絡済 →学会長は 2 年先決めておく ・学会予算の検討 →弁当代は総務部より支給 ・学会についての申し送り →HP は学会として独立させた方がよい？</p>
<p>機関誌編集部 (石川)</p>	<p>事務局 総務部 IT 事業部 (山河)</p> <p>■報告 現時点で論文掲載 2 件 ■提案 県学会の演題登録の時点で、論文掲載の案内を。 →共催は難しいがアナウンスは可能 →本人に電話にて掲載の依頼を許可 →ごったにも機関誌への論文投稿依頼を掲載</p> <p>■IT 部 HP へのアクセスは徐々に減少している。 ■会員情報部 会員数 506 名、施設数 148 か所 ■総務部 東海北陸リーガ-研修会 5 名参加 林副会長、総務部員 3 名、推薦 1 名 ■検討 ・来年は岐阜にてリーガ-研修会 →林副会長を中心に来年のスケジュールを作成していく ・総会運営部で議案書や当日の運営、総会議事は可能か？ →例年通りであれば実行可能 ・第 1 回理事会開催を学会終了後でどうか？ →代表理事選出のための理事会の開催 →理事は認印を持参。</p>	

生涯教育部 (林)	<p>■生涯教育推進委員会 日程：平成 29 年 11 月 11.12 日 次年度よりバーコードリーダーを用いた受付システムの導入</p>	<p>■認知症アップデート研修会 参加人数：57 名 ■愛三岐認知症推進委員会 3 県共同して東海北陸学会で実施報告、活動報告等々。その他 VR 体験の実施→予算次第 ■地域ケア会議について 神戸町から依頼あり。 ■検討事項 地域ケア会議への参加要件 1. MTDLP 基礎研修修了者 2. 地域ケア会議に資する人材育成研修会修了者 3. 地域包括ケア推進リーダー導入研修会・アドバンス研修会修了者 4. 介護予防推進リーダー導入研修会・アドバンス研修会修了者 ・要件のハードルを上げすぎてしまうと参加できる人が少なくなってしまう。 ・県士会に直接要望が来ると、こちらで選出できるが、個別に依頼が来るともある。 ・以前より窓口を一本化するシステムを作成したが、あまり周知できていない。</p>
広報部 会員向け (田中)	<p>■次号ごったに 発送：平成 29 年 10 月 内容： ・特集ページにて地方局の活動紹介 ・求人募集の依頼 ・滋賀のラッパーOT について掲載 ・リハビリテーション連絡協議会について今後掲載していく ■次々号 発送：平成 30 年 1 月 締切：平成 29 年 12 月 31 日 ■新人紹介について ・入会する時期が徐々に遅くなってきている。 ・新入会員自身が掲載の希望をされないことが多い(今年は希望者 13/40 人)。</p>	
地方局 (藤井) (安井)	<p>■報告 ごったにに地方局紹介ページを掲載 ■各地方局からの声 現状：どんな活動を行えばよいか？ 対策：ごったにに紹介記事を掲載し、県士会員から意見を募集 ■検討内容 →各圏域の会員が何を望んでいるのか？ →会員の主体性を生むには声を聞く →各施設のトップのネットワーク作りを ■西濃 西濃地区親睦会 日程：7 月 7 日 参加者 13 名 (内新人 4 名) 新人の参加が少ない。 ■岐阜 岐阜圏域での会員数 225 名、所属数 55 か所 圏域内の統制が厳しいため、平成 30 年 4 月より圏域を 5 区分化し、区分・エリア別の地方局活動展開(案)を検討。 →ゆくゆくは PS 士会も共同で行っていきたい</p>	
財務部 (木下)	<p>■報告 ポケット wifi の契約更新 収支報告書、領収書の提出は 3 月中旬までに</p>	
学術 研修部 (渋谷)	<p>身障・老年期の研修会は終了 精神領域は 10 月 21 日、発達領域は 2 月 3or10 日に開催予定</p>	